

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成26年11月4日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況や新規規制基準の対応状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成26年10月4日～平成26年11月4日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

①サイトバンカ床ドレンサンプポンプ出口配管からの漏えいの原因と対策について

第33回定期検査中の敦賀発電所1号機において、平成26年9月17日、サイトバンカ建屋（管理区域）に設置されたサイトバンカ床ドレンサンプポンプを起動したところ、ポンプ出口配管より僅かに水が漏えいしていることを確認しました。

漏えい箇所の調査を行ったところ、出口配管の下部に貫通孔（約7mm×約7mm）を確認しました。現在、当該配管を取り外し、原因調査を行っています。

なお、配管から漏えいした水は、放射能測定の結果、検出限界値未満でした。

また、本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

（平成26年10月3日発表済み）

当該配管の外観観察や断面観察の結果、貫通孔を含む配管底部にさびの堆積が認められ、貫通孔の周りがくぼみ状に減肉していたことから、当該配管は腐食によって貫通したと推定しました。

この原因は、当該部は配管の口径が大きくなる部分であり、ポンプ停止中に水溜りができ、炭素鋼を腐食させる環境が形成され、さらにポンプの運転頻度が少ないため、長時間にわたりこの環境が継続したためと推定しました。

対策として、当該配管は新しい配管に取り替えました。今後、配管の口径を大きくする位置を水平部から垂直部に変更し、当該配管に水が残らない構造とします。

(別紙 1 参照)

②高電導度ドレン系配管からの漏えいの点検状況について

第 3 3 回定期検査中の敦賀発電所 1 号機において、平成 2 6 年 9 月 2 2 日、廃棄物処理建屋地下 1 階（管理区域）の床面に水溜り（約 9 0 cc）があること、床面から高さ約 5 m にある高電導度ドレン系配管より水が滴下していることを確認しました。

当該配管の調査を行なったところ、溶接部に漏えいの跡があることを確認しました。

現在、原因調査を行っています。また、当該配管の他の溶接部についても調査を行っており、同様な漏えい跡を確認しました。

なお、配管から漏えいした水は、放射能測定の結果、検出限界値未満でした。

また、本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

(平成 2 6 年 1 0 月 3 日発表済み)

当該配管の他の溶接部について調査を行なった結果、当初漏えいが確認された溶接部を含めて 3 6 箇所の溶接部に漏えいの跡を確認しました。

漏えいの跡が確認された溶接部については、補修材による応急補修を行うとともに、その他の 1 2 3 箇所の溶接部についても補修材を用いた予防措置を行い、水圧試験にて漏えいがないことを確認しました。

引き続き、原因調査を行い、配管の取り替えを含め必要な対策を講じてまいります。

3. 敦賀発電所 3, 4 号機 準備工事について（平成 2 6 年 1 1 月 4 日現在）

(1) 建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地の維持管理を継続して行っています。

(2) 仮設工事関係

現在、コンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

(1) げんでんふれあいギャラリー催物のご案内について

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

① 玄々社・グループ六萌^{ろっほう} 書展

玄々社で学ぶグループ六萌^{ろっほう}の6名（代表：山下^{そうせき} 蒼石^{ゆうか} 様、田中^{しほう} 友華^{しほう} 様、野坂^{しほう} 史芳^{しほう} 様、別司^{べっし} 粹月^{すいげつ} 様、山下^{とうしゅう} 涛舟^{とうしゅう} 様、山田^{こうせん} 香泉^{こうせん} 様）の皆様による作品展です。『雪』や来年の干支『羊』をテーマに書かれた作品を32点展示しています。

（11月4日～11月9日）

②第28回 敦賀写仏の会 写仏展

発足して28年目となる、敦賀写仏の会の16名（代表：岸本 喜美子 様）の皆様による作品展です。月1回の例会、年1回の研修旅行を経て描かれた写仏、水墨画等の作品を、48点展示予定です。

（11月11日～11月16日）

③第7回 越前大自慢写真コンテスト作品展

越前町主催の写真コンテストの入賞作品展です。歴史や文化・伝統、人々の営み、そして四季折々の素晴らしい風景等、越前町の魅力を表現した作品を、20点展示予定です。

（11月18日～11月30日）

敦賀発電所 1 号機

サイトバンカ床ドレンサンプポンプ出口配管からの漏えいの原因と対策について

平成 26 年 9 月 17 日、敦賀発電所 1 号機サイトバンカ建屋※（管理区域）において、サイトバンカ床ドレンサンプにろ過水にて水を張り、ポンプ（A 号機）を点検のため起動したところ、当該ポンプの出口配管より僅かに水が漏えいしていることを確認しました。

漏えい箇所の調査を行ったところ、出口配管の下部に貫通孔（約 7mm×約 7mm）を確認しました。現在、当該配管を取り外し、原因調査を行っています。

なお、配管から漏えいした水は、放射能測定の結果、検出限界値未満でした。

本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

（平成 26 年 10 月 3 日発表済み）

当該配管の外観観察や断面観察の結果、貫通孔を含む配管底部にさびの堆積が認められ、貫通孔の周りがくぼみ状に減肉していたことから、当該配管は腐食によって貫通したと推定しました。

この原因は、当該部は配管の口径が大きくなる部分であり、ポンプ停止中に水溜りができ、炭素鋼を腐食させる環境が形成され、さらにポンプの運転頻度が少ないため、長時間にわたりこの環境が継続したためと推定しました。

対策として、当該配管は新しいものに取り替えました。

今後、配管の口径を大きくする位置を水平部から垂直部に変更し、当該配管に水が残らない構造とします。

また、ポンプ（B 号機）の出口配管についても、当該配管と同様の環境にあると考えられることから、口径を大きくする位置を水平部から垂直部に変更し、配管を新しいものに取り替えます。

※ 制御棒等の高線量固体廃棄物をプール内に保管している建屋

添付資料 1 サイトバンカ床ドレンサンプポンプ出口配管の状況図

サイトバンカ床ドレンサンプポンプ出口配管の状況図

